

歴史的分野 年間指導計画表（第1学年）

歴史的分野（第1学年）の教科書での時数 46 時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 8 時間

序 章				
（配当6時間・うち第1学年の学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動0時間）				
累計 時間	学習内容	配当 授業 時数	学習のねらい	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
6	年代や時代区分の表し方 【課題学習】歴史人物Q&Aカードをつくろう 地域調査に出かけてみよう！ (p. 6～12)	6	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史を学ぶ意欲を高め、その意義について考える。 ○年代の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解する。 ○小学校で学習した人物について調べる活動を通して、時代の区分やその移り変わりに気付く。 ○身近な地域の歴史を調べる活動を通して、地域への関心を高め、地域の具体的な事柄との関わりのなかでわが国の歴史を理解する。 	

第1章 原始と古代の日本

(配当21時間・うち第1学年の学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動3時間)

累計時間	学習内容	配当授業時数	学習のねらい	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
8	海洋国家・日本の歩み①(縄文時代の丸木舟) 歴史絵巻～原始・古代～ 原始・古代の世界へようこそ！ (p. 13～17)	2	○縄文時代の丸木舟が果たした役割について考察する。 ○原始・古代におけるわが国の歴史の大きな流れを大観する。 ○原始・古代の特色について、課題意識をもって究明し、とらえる。	○「鳥の目で見える原始・古代 歴史絵巻」(p. 14～15)で小学校の学習を振り返る。 ○「虫の目で見える原始・古代」(p. 16～17)の設問に取り組み、小学校の学習を踏まえて時代のイメージを考え、まとめる。 【2時間】
	第1節 日本のあけぼのと世界の文明 (p.18～39)	9	○人類の出現、文明のおこりから各地に国家が生まれていった経緯を把握する。 ○わが国の成り立ちとその発展を東アジア諸国との関連からとらえ、当時の人々の考え方に気付く。	
9	1 日本列島ができたころの人々 (p. 18～19)	1	○人類が出現し、狩猟・採集の生活しながら世界に広がっていったようすについて理解する。 ○日本列島ができた経緯や人々の暮らしのようすについて理解する。	
11	2 豊かな自然と縄文文化 (p. 20～25)	2	○縄文時代の特色を土器や住居、貝塚などの遺物をもとに理解する。 ○豊かな自然に育まれた長い年月が、現代日本人の文化や感性にもつながっていることに気付く。	
12	3 文明のおこりと中国の古代文明 (p. 26～27)	1	○古代文明が大河のほとりにおこった理由について考える。 ○古代文明の特色を、文字や建築物を通して理解する。 ○ギリシャ・ローマの文明について、特色を考える。	
13	4 稲作・弥生文化と邪馬台国 (p. 28～29)	1	○弥生時代に本格化した米づくりが人々の定住・集団化を促し、ムラがつくれ、やがてクニへと発展していったことに気付く。 ○弥生文化の特色を金属器や土器などの遺物から考えさせる。	
14	5 古墳の広まりと大和朝廷 (p. 30～33)	1	○古墳について理解し、その広がりから各地に有力豪族が誕生していったことに気付く。 ○豪族の連合政権である大和朝廷が成立し、国土統一に向かう機運や制度が整っていったことを理解する。	
15	6 大和朝廷と東アジア (p. 34～35)	1	○日本と中国・朝鮮半島の関係や、その移り変わりについて資料を通して理解する。 ○大陸や朝鮮半島から渡来した人々がわが国にもたらした技術や文化について考える。	

累計時間	学習内容	担当授業時数	学習のねらい	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
17	7 世界の宗教と日本 (p. 36～39)	2	○宗教がなぜおこり、世界にはどのような宗教があるのかについて理解する。 ○宗教がわが国の歴史や身近な生活にどのように関わっているのかについて考える。	
	第2節 「日本」の国の成り立ち (p.40～64)	10	○大陸の文物を取り入れながら、わが国が律令国家として体制を整え、独自の文化を育んでいったようすを理解する。	
18	8 聖徳太子の国づくり (p. 40～41)	1	○聖徳太子の立場やその政治について調べ、太子が何をめざしていたかを考える。 ○東アジアにおける日本の立場を踏まえ、太子が中国とどのような関係を結ぼうとしたかを理解する。	
19	9 大化の改新と激動の東アジア (p. 42～43)	1	○皇族や豪族の間の勢力争いから大化の改新が起こり、天皇を中心とする国づくりが進んでいったことを理解する。 ○白村江の敗戦により危機感を高めたわが国が、国家体制を固めていったことを理解する。	
20	10 飛鳥文化・白鳳文化と遣唐使 (p. 44～45)	1	○飛鳥・白鳳時代の建築物や仏像を概観し、その特色を理解する。 ○遣唐使が派遣された理由や、それがわが国にもたらした影響の大きさについて考える。	
21	11 大宝律令と平城京 (p. 46～47)	1	○大宝律令により、わが国が律令国家として整備されていったようすに気付く。 ○班田収授法のしくみについてまとめ、奈良時代の人々の暮らしを理解する。	
23	12 天平文化 (p. 48～53)	2	○律令国家体制が整備されるなかで、歴史書や歌集づくりが国家的事業として取り組まれたことを理解する。 ○唐との交流や仏教の発展が、天平文化として結実した経緯を理解するとともに、すぐれた作品や建築を鑑賞する。	
24	13 平安京と摂関政治 (p. 54～55)	1	○平安京に都が移された理由を考えるとともに、桓武天皇がめざした政治改革について理解する。 ○藤原氏の台頭により、都や地方の政治がどのように変容したのかについて具体的に理解する。	
26	14 新しい仏教と国風文化 (p. 56～61)	2	○平安初期の新しい仏教や、国風文化の特色を理解する。 ○現在につながるかな文字や文学作品から日本独自の文化が発達した理由を考える。	

累計 時間	学習内容	配当 授業 時数	学習のねらい	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
27	学習のまとめ① (p. 62～64)	1		<p>○第1章での学習を振り返り、語句の確認や原始・古代の時代の変化の整理、学習内容の確認の問いに取り組む。確認した内容を基に、この時代の特色についての自分の考えをまとめる。</p> <p>【1時間】</p>

第2章 中世の日本

(配当14時間・うち第3学年の学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動3時間)

累計時間	学習内容	配当授業時数	学習のねらい	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
29	海洋国家・日本の歩み②(遣明船) 歴史絵巻～中世～ 中世の世界へようこそ！ (p. 65～69)	2	○中世において、遣明船が果たした役割について考察する。 ○中世におけるわが国の歴史の大きな流れを大観する。 ○中世という時代の特色について、課題意識をもって究明し、とらえることができる。	○「鳥の目で見ると中世 歴史絵巻」(p. 66～67)で小学校の学習を振り返る。 ○「虫の目で見ると中世」(p. 68～69)の設問に取り組み、小学校の学習を踏まえて時代のイメージを考え、まとめる。 【2時間】
	第1節 武家政治の成立 (p. 70～81)	5	○武士が登場し力を伸ばした理由を考察するとともに、その後の武家社会の基盤がこの時代に築かれたことを理解する。	
30	15 武士の登場と院政 (p. 70～71)	1	○武士の登場と武士団の形成についてとらえるとともに、地方武士の反乱などを通し、その勢力が拡大したことを理解する。 ○院政のおこりと源氏・平氏の台頭、および平氏による政権樹立の経緯について理解する。	
31	16 武士の世の到来と鎌倉幕府 (p. 72～73)	1	○源氏による平氏追討の動きと平氏の滅亡に至るまでの流れを時系列に沿って把握する。 ○武家政権の確立に向けて頼朝が行った諸政策を理解するとともに、幕府の性格や特徴について考える。	
32	17 幕府政治の展開と人々の暮らし (p. 74～75)	1	○北条氏を中心とする幕府政治の展開に注目するとともに、承久の乱の原因や結果、その影響を理解する。 ○封建制度を基盤とした武士の暮らしや、農業技術の進歩を背景とした社会の変化についてとらえる。	
33	18 新しい仏教と武士の文化 (p. 76～77)	1	○多くの仏教宗派が誕生したことを当時の社会情勢と関連付けてとらえ、それぞれの宗派の特色を理解する。 ○鎌倉時代の代表的な文学作品や建築・美術作品を知り、その特色をとらえる。	
34	19 元寇と鎌倉幕府のおとろえ (p. 78～81)	1	○モンゴル帝国および元の成立について、そのあらましをとらえる。 ○元寇の原因や結果とともに、元寇に対処した幕府や御家人の動向を把握する。また、元寇の影響が、幕府滅亡の原因の一つとなったことを理解する。	

累計時間	学習内容	配当授業時数	学習のねらい	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
	第2節 武家政治の動き (p.82～96)	7	○室町幕府の成立とそのおとろえ, 戦国時代へと向かう時代の変化について理解する。 ○当時の東アジアの国々の動向について理解する。	
35	20 建武の新政と南北朝の動乱 (p. 82～83)	1	○建武の新政が天皇中心の政治をめざしたものだっことを理解する。 ○室町幕府は守護大名による連合体であったことを, 守護大名の特徴から読み取る。	
36	21 室町幕府と東アジア (p. 84～85)	1	○足利義満により室町幕府の体制が整えられたことを理解する。 ○日本との交流を通して, 東アジアの国際関係について理解する。	
37	22 応仁の乱と戦国大名 (p. 86～87)	1	○応仁の乱の内容と, 応仁の乱をきっかけに全国に広がった社会の変化を理解する。 ○応仁の乱以降, 各地に割拠した戦国大名が城下町を中心に領国経営に力を注いだことを理解する。	
39	23 産業の発達と広がる自治の動き (p. 88～91)	2	○技術の進展により農業や手工業が発達したことが, 人々の生活の向上や国内の流通網の発展をもたらしたことを理解する。 ○政治や経済の変化を背景に, 農村や都市で有力な住民による自治が行われたことを理解する。	
40	24 室町時代の文化 (p. 92～93)	1	○室町時代の絵画や建築には禅宗の影響が及んでいたことを理解する。 ○室町文化が現代の生活に及ぼした影響について考える。	
41	学習のまとめ② (p. 94～96)	1		○第2章での学習を振り返り, 語句の確認や中世の時代の変化の整理, 学習内容の確認の問いに取り組む。確認した内容を基に, この時代の特色についての自分の考えをまとめる。 【1時間】

第3章 近世の日本

(配当26時間・うち第1学年の学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動2時間)

累計時間	学習内容	配当授業時数	学習のねらい	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
43	海洋国家・日本の歩み③(朱印船) 歴史絵巻～近世～ 近世の世界へようこそ！ (p. 97～101)	2	○近世において朱印船が果たした役割について考察する。 ○近世におけるわが国の歴史の大きな流れを大観する。 ○近世という時代の特色について、課題意識をもって究明し、とらえることができる。	○「鳥の目で見ると近世 歴史絵巻」(p. 98～99)で小学校の学習を振り返る。 ○「虫の目で見ると近世」(p. 100～101)の設問に取り組み、小学校の学習を踏まえて時代のイメージを考え、まとめる。 【2時間】
	第1節 ヨーロッパとの出会い (p.102～107)	3	○大航海時代をもたらした歴史的背景を知るとともに、ヨーロッパの文物がわが国にどのような影響をもたらしたのかを理解する。	
45	25 ヨーロッパ人の世界進出 (p. 102～105)	2	○ヨーロッパ人がどのような目的で新航路を開拓したのか、背景となるアジアの交易の状況やムスリム商人などの役割とともに考える。また、こうした動きが、世界にどのような影響を与えたかを考える。 ○ルネサンスや宗教改革など、ヨーロッパの動きについて理解する。	
46	26 ヨーロッパ人の来航 (p. 106～107)	1	○ヨーロッパから伝来した鉄砲やキリスト教が急速に広がっていった理由を考える。 ○南蛮貿易を中心とする日本とヨーロッパの交流について理解する。	

※「第3章 近世の日本」のうち第1学年での学習が見込まれる上記5時間分(うち授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動2時間)を、「次学年に移して指導することが考えられる教材・学習活動」とする。

歴史的分野 年間指導計画表（第2学年）

歴史的分野（第2学年）の教科書での時数 41 時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 3 時間

第3章 近世の日本				
（配当26時間・うち第2学年の学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動1時間）				
累計時間	学習内容	配当授業時数	学習のねらい	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
	第2節 信長・秀吉の全国統一 (p.108～115)	4	○織田信長・豊臣秀吉による統一事業の概要を理解するとともに、桃山文化の特色をつかむ。	
47	27 織田信長と豊臣秀吉の全国統一 (p. 108～109)	1	○戦国大名のなかで織田信長・豊臣秀吉が全国統一に成功した理由を考える。 ○信長・秀吉が全国統一を完成させるためどのような政策をとったのか理解する。	
48	28 豊臣秀吉の政治と外交 (p. 110～111)	1	○太閤検地と刀狩が日本の社会をどのように変えていったかについて理解する。 ○秀吉が朝鮮出兵を行った理由をスペインやイエズス会の動きと関連付けて考える。	
50	29 雄大で豪華な桃山文化 (p. 112～115)	2	○桃山文化の特色を全国統一に向かう時代の動向と関連して理解する。 ○ヨーロッパ人によってもたらされた文化の広がりやその影響について理解する。	
	第3節 江戸幕府の政治 (p.116～123)	4	○およそ260年にわたる長期政権となった江戸幕府の基礎が、どのように築かれたか理解する。	
51	30 江戸幕府の成立 (p. 116～117)	1	○江戸幕府がどのようにして成立し、その基礎がどう固められたのかについて理解する。 ○敵対する勢力に対し、幕府がどのような政策を行ったのかを考察する。	
52	31 「鎖国」への道 (p. 118～119)	1	○朱印船貿易の時代から「鎖国」に向かう時代の流れを理解する。 ○幕府が貿易による利益を犠牲にしてもキリスト教の広がりを防ごうとした理由について考察する。	

累計時間	学習内容	配当授業時数	学習のねらい	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
53	32 「鎖国」の時代に開かれていた窓口 (p. 120～121)	1	○国際関係の変化を踏まえ、江戸時代の対外関係がどのような形で結ばれていたか理解する。 ○「鎖国」とよばれる体制が日本にどのような影響を及ぼしたのか考える。	
54	33 身分制度の確立 (p. 122～123)	1	○江戸時代の身分制度と、それぞれの身分の役割について理解する。 ○武士・百姓・町人とは別に、差別されていた人々がいたことに気付く。	
	第4節 産業・交通の発達と町人文化 (p.124～131)	4	○平和で安定した時代に支えられ、人々の生活や社会が発展・充実期を迎えたことを産業や文化、都市などの発達を通して理解する。	
55	34 綱吉の文治政治と元禄文化 (p. 124～125)	1	○幕府がそれまでの武断政治から、学問を前面に押し出した文治政治へと方針転換した理由を考える。 ○文学や美術作品を通して、元禄文化の特色を理解する。	
57	35 新田の開発と産業・交通の発達 (p. 126～129)	2	○農業の進歩が他の産業の進歩を促し、各地で特色ある都市や生産物が生まれていったことを理解する。 ○産業・交通の発達により、町人の力がしだいに大きくなっていったことを理解する。	
58	36 藩校と寺子屋 (p. 130～131)	1	○藩校や寺子屋が普及していった理由、およびその実態について理解する。 ○この時代の高い教育水準が、その後の歴史にどのようにつながったかについて考える。	
	第5節 幕府政治の改革 (p.132～150)	9	○幕府や大名の財政が行きづまった理由をさぐるとともに、どのような改革が行われたのか、その結果とともに理解する。	
59	37 社会の変化と享保の改革 (p. 132～133)	1	○商業の発達と貨幣経済の広がりが、米に依拠する武家政治を揺るがす原因になったことを理解する。 ○享保の改革が必要とされた理由と、改革のあらましについて理解する。	
60	38 田沼の政治と寛政の改革 (p. 134～135)	1	○田沼意次は発展する商人の力を利用して幕府財政の立て直しを図ろうとしたことを理解する。 ○松平定信は寛政の改革により政治の引き締めを図ったが、時代の流れに合わず、失敗したことを理解する。	

累計時間	学習内容	担当授業時数	学習のねらい	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
61	39 欧米諸国の接近 (p. 136～137)	1	○わが国の周辺に外国船が出没するようになった理由を国際情勢の変化を踏まえて理解する。 ○外国船に対する幕府の対策を異国船打払令や北方探検を通して考える。	
62	40 天保の改革と諸藩の改革 (p. 138～139)	1	○大塩平八郎の乱が起きた原因と社会の状況について理解する。 ○天保の改革が失敗に終わった理由と、雄藩の改革が成功した理由を考える。	
64	41 江戸の町人文化 (p. 140～143)	2	○化政文化の特色を社会の変化と関連付けて理解する。 ○現代に伝わる江戸文化について考察する。	
66	42 新しい学問と思想の動き (p. 144～147)	2	○化政文化が栄えた理由を政治や社会の変化を踏まえて理解する。 ○蘭学と国学という相反する方向性をもつ二つの学問が、のちに尊王攘夷運動を支える柱となった経緯について考える。	
67	学習のまとめ③ (p. 148～150)	1		○第3章での学習を振り返り、語句の確認や近世の時代の変化の整理、学習内容の確認の問いに取り組む。確認した内容を基に、この時代の特色についての自分の考えをまとめる。 【1時間】

第4章 近代の日本と世界

(配当25時間・うち第2学年の学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動2時間)

累計時間	学習内容	配当授業時数	学習のねらい	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
69	海洋国家・日本の歩み④(威臨丸) 歴史絵巻～近代①～ 近代①の世界へようこそ！ (p. 151～155)	2	○威臨丸の航海の歴史的意義について考察する。 ○近代前半におけるわが国の歴史の大きな流れを大観する。 ○近代前半の時代の特色について、課題意識をもって究明し、とらえることができる。	○「鳥の目で見える近代① 歴史絵巻」(p. 152～153)で小学校の学習を振り返る。 ○「虫の目で見える近代①」(p. 154～155)の設問に取り組み、小学校の学習を踏まえて時代のイメージを考え、まとめる。 【2時間】
	第1節 欧米諸国の進出と幕末の危機 (p.156～165)	5	○やがて列強として世界に君臨する欧米諸国が、強大な力をもつに至った経過を、市民革命と産業革命を通して理解する。 ○迫りくる外圧のなかで、近代化の必要に迫られたわが国が、明治維新を実現していく経緯をつかむ。	
70	43 欧米の市民革命・産業革命 (p. 156～157)	1	○市民革命と産業革命を通して欧米諸国が近代国家をつくり上げていった経過を理解する。 ○市民革命のもととなった人権思想の内容について具体的事例と関連付けて理解する。	
71	44 欧米列強のアジア進出 (p. 158～159)	1	○イギリスのインド支配とアヘン戦争を例に、欧米列強が軍力でアジア諸国を植民地化していった経緯について理解する。 ○欧米諸国とアジア諸国の経済力や軍事力の差がなぜ生まれたのか、前時の学習をもとに考察する。	
72	45 黒船来航の衝撃 (p. 160～161)	1	○ペリーが来航した当時の国際情勢や、幕府の対応、外交政策の概要を理解する。 ○幕府が結んだ通商条約の内容と、開国が当時の社会や後の時代に及ぼした影響について、多面的・多角的な視点から考察する。	
73	46 尊王攘夷運動の高まり (p. 162～163)	1	○尊王攘夷運動が激しくなっていく理由を、国内の政治的、経済的な背景から考え、この運動が社会に与えた影響について多面的・多角的に考察する。 ○東アジアでの欧米諸国の動きを把握し、日本がとるべき外交上の選択肢について考察する。	
74	47 倒幕と大政奉還、王政復古の号令 (p. 164～165)	1	○倒幕運動が高まっていった背景や260年あまりも続いた江戸幕府が滅んだ直接的、間接的な理由について理解する。 ○倒幕運動において天皇の果たした役割について考える。	

累計時間	学習内容	配当授業時数	学習のねらい	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
	第2節 明治・日本の国づくり (p.166～181)	7	○明治維新のあらましをつかむとともに、政府の諸政策が近代国家の礎となっていたことを理解する。	
75	48 五箇条の御誓文と明治維新 (p. 166～167)	1	○天皇を中心とする新しい政府が成立した経緯を把握するとともに、五箇条の御誓文に示された、新政府の方針について関心をもち、その内容を理解する。 ○新政府が、近代国家建設に向けて国内外にどのような問題を抱えていたかについて考える。	
76	49 新しい国づくりへの道 (p. 168～169)	1	○中央集権国家を建設するにあたって明治政府が進めた、廃藩置県などの政策について関心をもち、これらの目的や意義について理解する。 ○明治初期の諸改革が武士や庶民にどう受け止められたかについて考察する。	
77	50 学制・兵制・税制の改革 (p. 170～171)	1	○明治政府が中央集権国家の建設に向けて進めていった諸改革を、学制・兵制・税制の三大改革の視点から整理し、その目的や役割や課題について理解する。 ○明治政府が目指した近代国家像について、東アジアや欧米の動きと関連づけて理解する。	
78	51 明治初期の外交と国境の画定 (p. 172～173)	1	○近代国家の建設を進めていく上で、国家の領域を画定していくことの重要性を認識するとともに、明治政府が進めようとしていた外交政策や抱えていた外交問題について理解する。 ○欧米諸国の当時のアジア政策を踏まえた上で、日本の外交政策のあり方について考える。	
80	52 岩倉使節団と西南戦争 (p. 174～177)	2	○岩倉使節団が派遣された当時の欧米諸国の政治や経済、社会、文化等について関心をもち、明治政府がより一層の近代化を進めようとしたことを理解する。 ○岩倉使節団で派遣された政府首脳が、どのような感想を抱いたかについて考える。	
81	53 殖産興業と文明開化 (p. 178～181)	1	○明治政府が国の独立を保つために、富国強兵、殖産興業のスローガンをもとに様々な政策を進めていったことを理解し、急速な改革をもたらした社会の変化の様子を理解させる。 ○西洋の文物や諸制度が急速に広がり、国民の生活に大きな影響を与えたことに気付かせる。	

累計時間	学習内容	配当授業時数	学習のねらい	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
	第3節 アジア最初の立憲国家・日本 (p.182～193)	6	○憲法の制定、議会の開設など近代化に大きく前進したわが国が、不平等条約の改正や対外戦争の勝利を通して列強の一員となっていくようすを理解する。	
82	54 国会開設へ向けて・自由民権運動 (p. 182～183)	1	○五箇条の御誓文により、議会政治の確立をめざした政府・自由民権派それぞれの取り組みを理解する。	
83	55 大日本帝国憲法の制定と帝国議会 (p. 184～185)	1	○大日本帝国憲法の発布に至る経緯とその内容、および帝国議会の開設までの経緯を理解する。 ○大日本帝国憲法の制定と帝国議会の開設によって、日本の立憲政治が確立したこととの歴史的意義を考察する。	
84	56 不平等条約の改正への努力 (p. 186～187)	1	○不平等条約の問題点とその改正に至る経緯について理解する。 ○条約改正が実現できた理由について、立憲政治の確立、産業の発達、軍備の増強、東アジア国際情勢の推移などとの関連で理解する。	
85	57 朝鮮半島と日清戦争 (p. 188～189)	1	○欧米列強の東アジア進出の動きを踏まえた上で、明治政府の対アジア外交政策について理解し、日清戦争が起こった理由やその背景について考える。 ○日清戦争の経過や戦後の日本と東アジアの関係、欧米の東アジアへの動きについて理解する。	
86	58 ロシアとの激突・日露戦争 (p. 190～191)	1	○日露戦争が起こった原因や経過、結果について、当時の東アジア情勢や欧米列強の動き、複雑な国際関係を背景にして追求し、理解する。 ○日清・日露戦争の勝利により、わが国の国際的地位が向上したことを理解する。	
87	59 国際的地位の向上と韓国併合 (p. 192～193)	1	○日露戦争の勝利により、日本の国際的地位が向上し、アジア・アフリカの民族が独立への希望を抱いた一方で、欧米列強より警戒されるようになったことを理解する。 ○日本が韓国併合に踏み切った経緯を理解し、その後の東アジア情勢について考察する。	

※「第4章 近代の日本と世界」のうち第2学年での学習が見込まれる第3節の6時間分を、「次学年に移して指導することが考えられる教材・学習活動」とする。

歴史的分野 年間指導計画表（第3学年）

歴史的分野（第3学年）の教科書での時数 43 時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 15 時間

第4章 近代の日本と世界				
（配当25時間・うち第3学年の学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動1時間）				
累計 時間	学習内容	配当 授業 時数	学習のねらい	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動
	第4節 近代産業の発展と近代文化の形成 (p.194～204)	5	<p>○産業革命により重工業化が進展し、国際競争力を増す一方、公害などの歪みも生じたことを理解する。</p> <p>○欧米文化の流入に伴い、明治の文化が形成されていったことを理解する。</p>	
89	60 日本の産業革命と国民生活の変化 (p. 194～197)	2	<p>○わが国の産業革命が急速に進展したこと、およびそれに伴って社会問題が生じてきたことを理解する。</p> <p>○殖産興業政策を引き継ぎ、民営による諸産業が発展した結果、わが国の近代産業が急速に発展していくようすについて考察し、具体的事例を用いて説明する。</p>	
91	61 西洋文化と明治の文化 (p. 198～201)	2	<p>○近代的な教育制度が確立し、そのなかから世界的な活躍をする人材が輩出されたことを理解する。</p> <p>○西洋文化の刺激を受ける一方で、伝統的な文化も見直されていったことを、人物や作品をからめながら考察する</p>	
92	学習のまとめ④ (p. 202～204)	1		<p>○第4章での学習を振り返り、語句の確認や近代①の時代の変化の整理、学習内容の確認の問いに取り組む。確認した内容を基に、この時代の特色についての自分の考えをまとめる。</p> <p>【1時間】</p>

第5章 二度の世界大戦と日本

(配当19時間・うち第3学年の学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動3時間)

累計時間	学習内容	配当授業時数	学習のねらい	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
94	海洋国家・日本の歩み⑤(装備を取りつけている戦艦大和) 歴史絵巻～近代②～ 近代②の世界へようこそ！ (p. 205～209)	2	○戦艦大和がつくられた時代背景とその歴史の教訓について考える。 ○第一次世界大戦から第二次世界大戦終結までのわが国の歴史の大きな流れを大観する。 ○この時代の特色について、課題意識をもって究明し、とらえることができる。	○「鳥の目で見ると近代② 歴史絵巻」(p. 206～207)で小学校の学習を振り返る。 ○「虫の目で見ると近代②」の設問に取り組み、小学校の学習を踏まえて時代のイメージを考え、まとめる。 【2時間】
	第1節 第一次世界大戦前後の日本と世界 (p.210～221)	6	○大正時代のわが国のようす、およびその変容を大正デモクラシーの動きを中心として理解する。 ○第一次世界大戦の原因とその結果が世界に及ぼした影響について理解する。	
95	62 第一次世界大戦 (p. 210～211)	1	○第一次世界大戦が起こった原因を当時の国際情勢を背景にして理解する。 ○わが国の大戦中の動向を概観するとともに、中国とのあいだに利害の対立が生じたことを理解する。	
96	63 ロシア革命と第一次世界大戦の終結 (p. 212～213)	1	○ロシア革命が起こった理由、およびその展開が共産主義勢力という新しい国際勢力の台頭につながったことを理解する。 ○第一次世界大戦を境として、それまで世界の中心的位置を占めていたヨーロッパの地位が低下したことを理解する。	
97	64 ベルサイユ条約と国際協調の動き (p. 214～215)	1	○第一次世界大戦の処理をめぐる、ドイツに過重な負担がかけられたことを理解する。 ○戦後の国際的指針となった民族自決の原則が世界に与えた影響について理解する。	
98	65 大正デモクラシーと政党政治 (p. 216～217)	1	○世界的な潮流のなかで、大正デモクラシーが起こり、わが国の民主化を推進したことを理解する。 ○大正デモクラシーが普通選挙法を促し政党政治を定着させたことを理解する。	
99	66 ワシントン会議と日米関係 (p. 218～219)	1	○列強による軍事的なかけひきが行われるなかで、孤立を深めていったわが国の立場を理解する。 ○関東大震災の被害およびその影響について理解する。	
100	67 文化の大衆化・大正の文化 (p. 220～221)	1	○大正時代の文化の特色を、都市化、大衆化の動向を踏まえて理解する。 ○この時代の文化の多くが、現代まで伝えられていることを理解する。	

累計時間	学習内容	担当授業時数	学習のねらい	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
	第2節 第二次世界大戦終結までの日本と世界	11	○世界恐慌から敗戦までの流れを国内の政治の動きと世界情勢の変化を踏まえて理解する。 ○日中関係、日米関係を中心に戦争に踏み切ったわが国と相手国の立場、また、それが周辺諸国に与えた影響について理解する。	
101	68 世界恐慌と協調外交の行きづまり (p. 222～223)	1	○世界恐慌がアメリカから起こり全世界に波及した理由を理解する。 ○世界恐慌から自国の経済を守ろうとする各国の動きにより、国際協調は行きづまってくることを理解する。	
102	69 共産主義とファシズムの台頭 (p. 224～225)	1	○恐慌への対策がファシズムの動きにつながり、共産主義とともに二つの全体主義を形づくっていったことを理解する。	
103	70 中国の排日運動と満州事変 (p. 226～227)	1	○中国の国内統一の進展と、それに対するわが国の対応について、日中双方の視点から理解する。 ○満州権益をめぐる、日中間で摩擦が生じ、それが日本軍の行動につながった経緯を、日中双方の事情を踏まえて理解する。	
104	71 日中戦争（支那事変） (p. 228～229)	1	○日中戦争が勃発し拡大した理由を、日中双方の政治的背景や国際情勢を踏まえて、理解する。 ○二・二六事件を経て、軍部が政府に対し強い圧力をかけるようになっていった経緯を理解する。	
105	72 緊迫する日米関係 (p. 230～231)	1	○日中戦争の長期化に対して、日本政府が戦時総力戦体制の構築を推し進めていったことを理解する。 ○対米関係が悪化していった理由を、国際情勢を踏まえたうえで理解する。	
106	73 第二次世界大戦 (p. 232～233)	1	○ヨーロッパでの第二次世界大戦勃発に至る経緯とその展開について理解する。 ○日米交渉が行きづまっていた理由を、大戦の経過を踏まえて理解する。	
107	74 太平洋戦争（大東亜戦争） (p. 234～235)	1	○太平洋戦争（大東亜戦争）が起こった原因および戦争の経過について理解する。	
108	75 日本軍の進出とアジア諸国 (p. 236～237)	1	○欧米に植民地支配されていたアジア諸地域が、この戦争にどのように反応したかを理解する。 ○日本の統治が、統治されたアジア諸地域に及ぼした影響について理解する。	

累計時間	学習内容	担当授業時数	学習のねらい	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
109	76 戦時下の暮らし (p. 238～239)	1	○国家総動員体制により戦争一色となった国民生活のようすを通し、当時の人々の苦労や不安を理解する。 ○空襲による被害や沖縄での激しい地上戦のようすなどから、戦争の悲惨な実態を理解する。	
110	77 戦争の終結 (p. 240～245)	1	○第二次世界大戦の終結のようすをヨーロッパとアジアのそれぞれについて理解する。 ○戦争に敗れたわが国が直面した多くの困難について理解する。	
111	学習のまとめ⑤ (p. 246～248)	1		○第5章での学習を振り返り、語句の確認や近代②の時代の変化の整理、学習内容の確認の問いに取り組む。確認した内容を基に、この時代の特色についての自分の考えをまとめる。 【1時間】

第6章 現代の日本と世界

(配当19時間・うち第3学年の学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動11時間)

累計 時間	学習内容	配当 授業 時数	学習のねらい	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
113	海洋国家・日本の歩み⑥（世界一のタンカー日章丸3世） 歴史絵巻～現代～ 現代の世界へようこそ！ (p. 249～253)	2	○現代において、タンカーが担っている役割について考察する。 ○第二次世界大戦終結後のわが国の歴史の大きな流れを大観する。 ○この時代の特色について、課題意識をもって究明し、とらえることができる。	○「鳥の目で見える現代 歴史絵巻」(p. 250～251) で小学校の学習を振り返る。 ○「虫の目で見える現代」を読み、小学校の学習を踏まえて時代のイメージを考え、まとめる。 【2時間】
	第1節 第二次世界大戦後の占領と再建 (p.254～261)	3	○戦後の日本の体制を決定付けたGHQの占領政策について理解する。 ○激化する冷戦のなかで、わが国が西側陣営の一員となった経緯を理解する。	
114	78 占領下の日本と日本国憲法 (p. 254～257)	1	○敗戦後、GHQによる占領政策の下、どのような改革が行われたのか理解する。 ○日本国憲法が制定された経緯とその特色について理解する。	
115	79 朝鮮戦争と日本の独立回復 (p. 258～259)	1	○冷戦がなぜ始まり、どのように激化していったのかを理解する。 ○占領政策の転換により、わが国が西側陣営の一員として独立を回復したこと、および国際連合に加盟し国際社会に復帰したことを理解する。	
116	80 冷戦と日本 (p. 260～261)	1	○核戦争の危機をはらみながら、米ソを中心とした核開発競争が進んでいったことを理解するとともに、冷戦の推移を把握する。 ○冷戦が世界や日本に与えた影響について考察する。	
	第2節 経済大国・日本の国際的役割 (p.262～275)	6	○高度経済成長時代から平成に至るわが国の歩みを、国際社会の動向を踏まえて理解する。	
117	81 世界の奇跡・高度経済成長 (p. 262～263)	1	○世界の奇跡といわれた高度経済成長を通して、国民の生活が向上したようすを概観する。 ○高度経済成長の負の遺産である公害とその克服の歴史などを通して、先人の苦勞について考察する。	
118	82 冷戦と昭和時代の終わり (p. 264～267)	1	○1960年代から70年代にかけてのわが国と国際社会との動向について理解する。 ○冷戦という世界規模での対立が終わったことの意義について考察する。	

累計時間	学習内容	担当授業時数	学習のねらい	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
119	83 戦後と現代の日本文化 (p. 268～269)	1	○戦後の文化の特色について概観する。 ○世界に影響を与えている現代の日本文化の特色について考える。	
120	84 地域紛争とグローバル化 (p. 270～271)	1	○冷戦後の世界で生じた地域紛争など様々な問題について、その経緯や影響、問題に対する国際社会の取り組みを理解する。 ○現在の世界が抱える問題に対し、わが国がどのように取り組むべきか、考える。	
121	85 日本の現状とこれから (p. 272～273)	1	○現代日本で発生した事件や問題について、その経緯や影響を理解する。 ○これからの世界において、わが国がどのような役割を果たしていけるのかについて考える。	
122	学習のまとめ⑥ (p. 274～275)	1		○第6章での学習を振り返り、語句の確認や現代の時代の変化の整理、学習内容の確認の問いに取り組む。確認した内容を基に、この時代の特色についての自分の考えをまとめる。 【1時間】
130	【課題学習】歴史新聞をつくろう/歴史のロールプレイをしてみよう 日本の歴史を大観する 歴史の旅の終わりに (p. 276～281)	8	○身近な地域の歴史を調べ、歴史新聞にまとめたり、ロールプレイをすることで、表現力を養う。 ○学習した内容を活用してわが国の歴史を大観し、表現する活動を通して各時代および日本の歴史の特色をとらえる。 ○歴史的分野の学習を終えるに当たって、わが国の歴史の大きな流れを振り返り、広い視野に立ってわが国の伝統と文化の特色を考え、社会の一員としての自覚に立って明るい未来の創造に意欲を高める。	○【課題学習】歴史新聞をつくろう (p. 276～277) を参考にして、自分なりの歴史新聞をつくる。 ○日本の歴史を大観する (p. 279～280) の課題に取り組み、まとめた内容を基に、日本の歴史の特色について自分の考えを深め、まとめる。 ○歴史の旅の終わりに (p. 281) を読み、社会の一員としての自覚と、明るい未来の創造に向けて意欲を高める。 【8時間】